

平成 16年 1月30日

各 位

株式会社 リそなホールディングス

(コード番号 8308)

## 平成16年3月期第3四半期情報の開示について

当社及びりそなグループ傘下銀行の、平成16年3月期第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日)における四半期情報について、お知らせいたします。

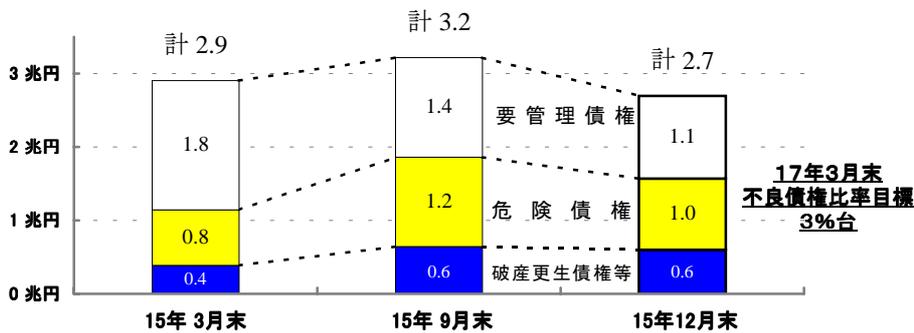
なお、以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。

### <目 次>

1. 平成16年3月期第3四半期情報の概要	P. 2
2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる債権額	P. 3
3. 自己資本比率	P. 4
4. 時価のある有価証券の評価差額・含み損益	P. 4～5
5. デリバティブ取引の評価損益	P. 5～6
6. 預金・貸出金	P. 7
7. りそな銀行における勘定分離の状況	P. 8

## 1. 平成16年3月期第3四半期情報の概要(傘下銀行単純合算)

## (1) 金融再生法基準開示債権の状況 (P3 参照)

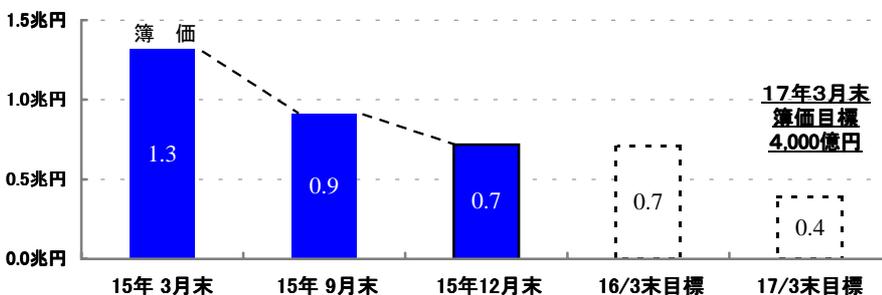


□ 平成15年12月末の開示債権は、同9月末比約5千億円減少し、約2兆7千億円となりました。

□ 平成17年3月末の不良債権比率目標3%台達成に向けて、引き続き積極的なオフバランス化を進めて参ります。

\* 15年9月末は、将来負担の削減を図る為の財務改革の一環として、自己査定基準の厳格化を行い、開示債権額が前期末比増加しております。

## (2) その他有価証券で時価のある株式の状況 (P4 参照)

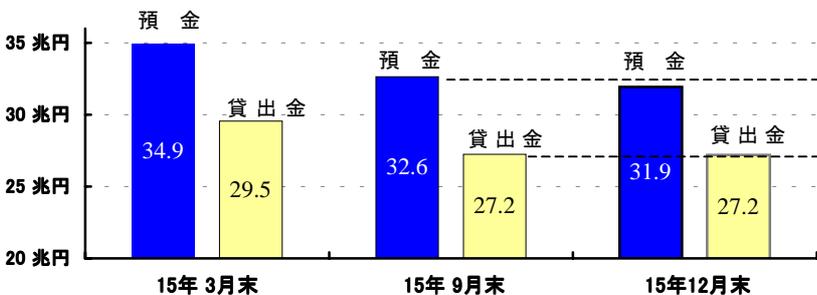


□ 平成15年10～12月には、傘下銀行単体ベースの合計で簿価で約2,000億円の売却を実施しました。

□ その結果、保有株式の簿価残高は約7千億円まで圧縮しており、平成16年3月末目標をほぼ達成する水準となりました。

\* 株式:簿価(取得原価)ベースで計上

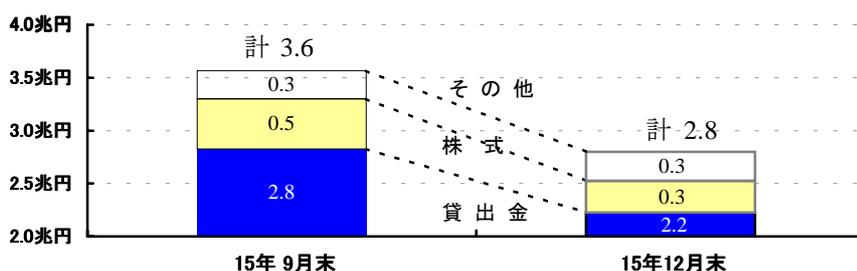
## (3) 預金・貸出金の状況 (P7 参照)



□ 平成15年12月末の預金残高は、同9月末比約7千億円減少、約31兆9千億円となりました。うち、法人預金は譲渡性預金へのシフト等により約7千億円減少しましたが、個人預金は増加(約3千億円)となりました。

□ また、平成15年12月末の貸出金残高は、同9月末比ほぼ横ばいの、約27兆2千億円となりました。個人ローンは増加(約2千億円)しておりますが、一般貸出は最終処理の進捗等により減少しております。

## (4) りそな銀行の勘定分離(再生勘定)の状況 (P8 参照)



□ りそな銀行は、平成15年9月末を基準として、不良債権等を「再生勘定」に、それ以外を「新勘定」とする、管理会計上の「勘定分離」を実施しました。

□ 平成15年12月末における「再生勘定」残高は、同9月末比約8千億円減少し、約2兆8千億円となりました。

## 2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる債権額(単体及び単純合算)

(単位:億円)		第3四半期末		中間期末 (平成15年9月30日)	前期末 (平成15年3月31日)
		(平成15年12月31日)	中間期末比増減		
傘下銀行単純合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,005	△428	6,434	3,888
	銀行勘定	5,908	△428	6,337	3,836
	信託勘定	97	△0	97	51
	危険債権	9,712	△2,453	12,165	7,529
	銀行勘定	9,657	△2,464	12,122	7,482
	信託勘定	54	11	43	46
	要管理債権	11,207	△2,382	13,589	17,645
	銀行勘定	11,124	△2,376	13,500	17,412
	信託勘定	83	△6	89	232
	合計	26,925	△5,264	32,190	29,063
	銀行勘定	26,690	△5,269	31,960	28,732
	信託勘定	235	4	230	331
りそな銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,608	△235	4,843	2,679
	銀行勘定	4,511	△235	4,746	2,627
	信託勘定	97	△0	97	51
	危険債権	7,612	△2,401	10,013	5,574
	銀行勘定	7,557	△2,412	9,970	5,527
	信託勘定	54	11	43	46
	要管理債権	9,470	△2,266	11,737	14,881
	銀行勘定	9,387	△2,260	11,647	14,648
	信託勘定	83	△6	89	232
	合計	21,691	△4,903	26,594	23,134
	銀行勘定	21,455	△4,908	26,364	22,803
	信託勘定	235	4	230	331
埼玉りそな銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	240	△12	253	294
	危険債権	579	△30	610	612
	要管理債権	780	△13	794	809
	合計	1,600	△57	1,657	1,716
近畿大阪銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,087	△178	1,265	847
	危険債権	1,481	△24	1,506	1,303
	要管理債権	920	△104	1,024	1,923
	合計	3,489	△307	3,796	4,074
奈良銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	70	△2	72	66
	危険債権	38	3	35	38
	要管理債権	36	2	33	31
	合計	145	3	141	137

- (注) 1. 傘下銀行単純合算の計数は、りそな銀行(銀行勘定・信託勘定)、埼玉りそな銀行(銀行勘定)、近畿大阪銀行(銀行勘定)、奈良銀行(銀行勘定)のそれぞれの単体(銀行勘定・信託勘定)の計数の合計であります。  
なお、りそな信託銀行は該当ありません。
2. 第3四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。  
各計数の算出方法は、以下のとおりです。
- ① 開示区分  
第3四半期末(平成15年12月31日)を基準日として、金融庁の「金融検査マニュアル」等に準拠し制定した「自己査定基準」に則り債務者区分の見直しを実施し、その結果に基づき、以下のとおり区分しております。
- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)
  - ・危険債権 (破綻懸念先の債権)
  - ・要管理債権 (要注意先の債権のうち、元本又は利息の支払いが3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している貸出債権)
- ② 開示額  
第3四半期末時点における残高をベースとしております。  
なお、新たに「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

## 3. 自己資本比率

		今期末【予想値】 (平成16年3月31日)	中間期末【実績値】 (平成15年9月30日)	前期末【実績値】 (平成15年3月31日)
りそなホールディングス (連結)	自己資本比率	6%台後半	6.27%	3.78%
	Tier I 比率	3%台半ば	3.16%	1.91%
りそな銀行 (連結)	自己資本比率	6%台半ば	7.78%	2.07%
	Tier I 比率	4%台前半	4.08%	1.06%
埼玉りそな銀行 (単体)	自己資本比率	7%台半ば	7.65%	7.77%
	Tier I 比率	3%台後半	3.82%	3.95%
近畿大阪銀行 (連結)	自己資本比率	7%程度	△10.96%	6.13%
	Tier I 比率	4%台前半	△10.96%	3.06%
奈良銀行 (単体)	自己資本比率	6%台後半	3.20%	5.50%
	Tier I 比率	5%台半ば	1.85%	4.17%
りそな信託銀行 (単体)	自己資本比率	105%程度	171.08%	115.10%
	Tier I 比率	105%程度	171.08%	115.10%

- (注) 1. 今期末(平成16年3月31日)の予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動する事があります。  
2. りそな銀行は、りそなホールディングスより近畿大阪銀行への増資資金3,000億円の貸出金をダブルギアリングとして自己資本より控除することにより、自己資本比率の低下を見込んでおります。

## 4. 時価のある有価証券の評価差額・含み損益

(1) その他有価証券に係る評価差額

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)					中間期末(平成15年9月30日)					前期末(平成15年3月31日)				
		取得 原価	時価	評価 差額	うち益	うち損	取得 原価	時価	評価 差額	うち益	うち損	取得 原価	時価	評価 差額	うち益	うち損
合 計	その他有価証券	66,191	67,845	1,654	2,117	463	56,454	58,212	1,758	2,363	605	60,051	59,792	△258	901	1,159
	うち株式	7,185	8,864	1,678	1,924	245	9,114	11,110	1,995	2,211	215	13,190	12,673	△516	557	1,074
	うち債券	54,427	54,384	△43	120	163	44,432	44,177	△254	86	341	44,330	44,634	304	308	4
りそな銀行	その他有価証券	46,421	47,824	1,402	1,756	353	41,769	43,408	1,638	2,098	459	46,950	46,592	△358	621	979
	うち株式	5,967	7,370	1,403	1,614	211	7,748	9,542	1,794	1,983	188	11,672	11,157	△515	442	957
	うち債券	36,934	36,899	△35	75	110	32,168	31,976	△191	56	248	33,825	33,970	144	147	2
埼玉りそな銀行	その他有価証券	9,368	9,577	208	254	45	8,028	8,178	150	232	82	5,007	5,040	33	68	35
	うち株式	943	1,191	248	249	1	955	1,186	231	231	0	957	976	18	53	34
	うち債券	8,419	8,379	△39	4	44	7,072	6,992	△80	1	81	4,049	4,064	14	15	0
近畿大阪銀行	その他有価証券	9,913	9,956	42	105	62	6,280	6,314	33	101	67	7,660	7,663	2	186	183
	うち株式	273	300	26	59	33	403	450	47	67	20	536	497	△39	41	81
	うち債券	8,593	8,624	31	38	7	4,735	4,753	18	27	8	5,955	6,096	141	141	0
奈良銀行	その他有価証券	286	287	0	2	1	260	261	0	2	1	335	339	3	4	1
	うち株式	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	△0	-	0
	うち債券	279	280	0	1	1	253	253	△0	1	1	328	332	3	4	0
りそな信託銀行	その他有価証券	200	200	△0	0	0	200	200	△0	0	0	150	150	△0	0	0
	うち株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	うち債券	200	200	△0	0	0	200	200	△0	0	0	150	150	△0	0	0

(注) 第3四半期末の「合計」は傘下銀行の計数を単純合算したもの、中間期末及び前期末の「合計」(斜字部分)はりそなホールディングスの連結決算の計数であります。

[参考] 政策投資株式の売却状況

(単位:億円)	第1～3四半期累計 (平成15年4月1日～12月31日)	中間期 (平成15年4月1日～9月30日)	前期 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)
傘下銀行単純合算	6,172	4,153	2,093
りそな銀行	5,890	4,025	1,992
埼玉りそな銀行	18	6	0
近畿大阪銀行	262	121	95
奈良銀行	0	-	3

- (注) 1. その他有価証券及び合同運用指定金銭信託の、時価のある株式の売却簿価(取得原価)の合計であります。  
2. 傘下銀行単純合算の計数は、りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、奈良銀行の計数の合計であります。  
3. りそな銀行の前期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)実績は、合併前(平成14年4月1日～平成15年2月28日)の大和銀行及びあさひ銀行の計数に、合併後(平成15年3月1日～3月31日)のりそな銀行の計数を合計したものです。

## (2) 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)					中間期末(平成15年9月30日)					前期末(平成15年3月31日)				
		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち益	うち損	帳簿 価額	時価	含み 損益	うち益	うち損	帳簿 価額	時価	含み 損益	うち益	うち損
りそな銀行	子会社・関連会社株式	313	549	236	236	-	313	564	251	251	-	313	158	△154	-	154
奈良銀行	満期保有目的の債券	23	23	△0	0	0	23	23	△0	0	0	23	24	0	0	0

(注) 埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、りそな信託銀行は該当ありません。

## 〔参考〕 合同運用指定金銭信託の有価証券評価損益

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)					中間期末(平成15年9月30日)					前期末(平成15年3月31日)				
		帳簿 価額	時価	含み 損益	うち益	うち損	帳簿 価額	時価	含み 損益	うち益	うち損	帳簿 価額	時価	含み 損益	うち益	うち損
りそな銀行	合計	1,195	1,003	△192	3	196	1,256	1,083	△172	7	180	1,260	1,006	△253	1	255
	うち株式	736	581	△155	3	159	797	665	△132	7	139	801	601	△199	1	201

- (注) 1. 以上の有価証券の評価差額・含み損益の状況は、「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中のコマーシャル・ペーパーが含まれております。
2. 第3四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、償却原価法適用後・減損処理前の帳簿価額と時価との差額を、中間期末及び前期末は償却原価法適用後・減損処理後の帳簿価額と時価との差額を計上しております。
3. 時価は、株式については期末(四半期末及び中間期末を含む)前1カ月の市場価格の平均に基づいて算定された額に、それ以外については、期末における市場価格等に、それぞれ基づいております。

## 5. デリバティブ取引の評価損益

## (1) 金利関連取引

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)			中間期末(平成15年9月30日)			前期末(平成15年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
合計	取引所	2,793	0	0	2,103	0	0	3,407	0	0
	店頭	102,883	163	255	101,135	144	236	47,593	174	201
	合計		163	255		145	237		174	201
りそな銀行	取引所	2,781	0	0	2,091	0	0	3,407	0	0
	店頭	100,668	143	233	101,357	138	227	47,408	162	189
	合計		143	233		139	228		162	189
埼玉りそな銀行	取引所	12	△0	△0	12	0	0	-	-	-
	店頭	2,119	20	20	1,818	19	19	985	11	12
	合計		20	20		19	19		11	12
近畿大阪銀行	取引所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	店頭	95	△0	0	125	△0	0	-	-	-
	合計		△0	0		△0	0		-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## (2) 通貨関連取引

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)			中間期末(平成15年9月30日)			前期末(平成15年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
合計	店頭	45,544	△5	156	41,744	△27	114	9,301	7	7
りそな銀行	店頭	44,956	△8	152	41,555	△31	110	9,270	6	6
埼玉りそな銀行	店頭	469	2	2	478	1	2	96	0	0
近畿大阪銀行	店頭	118	1	1	153	1	1	-	-	-

- (注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注3.の取引は、上記記載から除いております。
2. 前期末において引直し対象であった先物為替予約、通貨オプション等は、第3四半期末及び中間期末は上記に含めて記載しております。
3. 前期末において期間損益計算を行っていた通貨スワップ取引は、第3四半期末及び中間期末はヘッジ会計を適用しており、上記記載から除いております。

## (3) 株式関連取引

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)			中間期末(平成15年9月30日)			前期末(平成15年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
合 計	取引所	83	△ 1	△ 1	5	0	0	0	0	0
	店頭	1	△ 0	△ 0	-	-	-	-	-	-
	合 計		△ 2	△ 2		0	0		0	0
りそな銀行	取引所	83	△ 1	△ 1	-	-	-	-	-	-
	店頭	1	△ 0	△ 0	-	-	-	-	-	-
	合 計		△ 2	△ 2		-	-		-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## (4) 債券関連取引

(単位:億円)		第3四半期末(平成15年12月31日)			中間期末(平成15年9月30日)			前期末(平成15年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
合 計	取引所	627	△ 1	△ 1	129	0	0	9	△ 0	△ 0
りそな銀行	取引所	347	△ 1	△ 1	10	△ 0	△ 0	2	△ 0	△ 0
埼玉りそな銀行	取引所	280	△ 0	△ 0	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## (5) 商品関連取引、その他のデリバティブ取引

該当ありません。

- (注) 1. 以上のデリバティブ取引の第3四半期末における「合計」は、傘下銀行の計数を単純合算したもの、中間期末及び前期末の「合計」(斜字部分)はりそなホールディングスの連結決算の計数であります。
2. 第3四半期末及び中間期末に計上しているデリバティブ取引の中には、前期末まではマクロヘッジ会計の適用により、上記記載から除外されていた取引も含まれております。

## 6. 預金・貸出金

(単位:億円)		第3四半期末		中間期末 (平成15年9月30日)	前期末 (平成15年3月31日)
		(平成15年12月31日)	中間期末比増減		
傘下銀行単純合算	預金(未残)	319,442	△7,012	326,455	349,103
	国内個人預金(未残)	201,240	2,822	198,417	202,909
	うち流動性預金	89,329	3,804	85,524	88,390
	うち定期性預金	109,772	△1,202	110,975	112,824
	国内法人預金(未残)	101,942	△7,360	109,303	120,241
	うち流動性預金	76,089	△5,442	81,531	91,648
	うち定期性預金	21,885	△1,312	23,197	23,974
	信託元本(未残)	5,659	△329	5,989	5,963
	貸出金(未残)	272,007	△372	272,379	295,451
	銀行勘定	269,538	△291	269,829	292,537
	信託勘定	2,469	△80	2,549	2,914
りそな銀行	預金(未残)	195,938	△7,430	203,369	223,561
	国内個人預金(未残)	104,769	1,274	103,494	107,069
	うち流動性預金	47,752	1,691	46,061	49,007
	うち定期性預金	55,376	△582	55,959	56,717
	国内法人預金(未残)	81,916	△7,690	89,606	99,097
	うち流動性預金	60,891	△6,145	67,037	75,447
	うち定期性預金	17,634	△1,186	18,821	19,721
	信託元本(未残)	5,659	△329	5,989	5,963
	貸出金(未残)	196,092	△1,560	197,653	217,042
	銀行勘定	193,623	△1,480	195,103	214,127
	信託勘定	2,469	△80	2,549	2,914
埼玉りそな銀行	預金(未残)	86,118	1,153	84,965	86,009
	国内個人預金(未残)	66,343	1,678	64,664	64,447
	うち流動性預金	31,860	1,772	30,087	30,041
	うち定期性預金	34,030	△146	34,177	34,104
	国内法人預金(未残)	13,191	645	12,546	13,541
	うち流動性預金	10,718	625	10,093	11,314
	うち定期性預金	2,196	89	2,107	1,865
	貸出金(未残)	48,295	1,550	46,745	47,103
近畿大阪銀行	預金(未残)	35,651	△721	36,372	37,787
	国内個人預金(未残)	28,771	△120	28,892	29,994
	うち流動性預金	9,268	315	8,952	8,900
	うち定期性預金	19,458	△438	19,896	21,045
	国内法人預金(未残)	6,502	△319	6,821	7,297
	うち流動性預金	4,243	70	4,172	4,684
	うち定期性預金	1,957	△210	2,167	2,284
	貸出金(未残)	26,257	△451	26,708	30,009
奈良銀行	預金(未残)	1,699	△13	1,713	1,712
	国内個人預金(未残)	1,355	△9	1,365	1,398
	うち流動性預金	447	24	423	441
	うち定期性預金	907	△34	941	957
	国内法人預金(未残)	297	3	294	272
	うち流動性預金	201	7	193	168
	うち定期性預金	96	△4	100	103
貸出金(未残)	1,361	89	1,272	1,296	
りそな信託銀行	預金(未残)	34	△0	34	33

(注) 1. 信託勘定は、元本補てん契約のある信託であります。

2. 国内預金は日本銀行宛報告ベースで算出(除く海外、特別国際金融取引勘定)

流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金、定期性預金＝定期預金＋定期積金

## 7. りそな銀行の勘定分離の状況

## ○ 再生勘定の状況(残高実績)

(単位:億円)	第3四半期末 (平成15年12月31日)	分離基準日 (平成15年9月30日)	分離基準日比増減	〔目標値〕 (平成17年3月31日)
再生勘定全体(注2)	27,979	35,661	△7,682	
うち貸出資産(注2)	22,275	28,263	△5,987	
うち開示債権	20,419	25,854	△5,435	
うち上場・店頭株式	2,970	4,748	△1,777	0
うち不動産	322	340	△17	0
うち保証金等	224	270	△46	0
うち会員権	19	20	△1	0

(注)1. 再生勘定の貸出資産および開示債権額はりそな銀行全体の計数(3ページ)とは一致しません。  
(平成15年9月末現在で、再生勘定の債務者は固定しております)

- 上記には、分離基準日以降に正常・その他要注先以上にランクアップした貸出債権(1,758億円)については含まれておりません。
- 貸出資産と開示債権の目標値は、健全化計画における集中再生期間の計数目標の一つである「不良債権比率3%台」を達成する水準としております。(新・再生勘定合計の開示債権残高8,000億円台)
- 上場・店頭株式は平成15年9月末簿価ベースで記載しております。
- 不動産は、遊休・廃止予定物件残高だけを記載しております。
- 保証金等は、廃止予定物件に差入れている保証金等残高だけを記載しております。

以 上